

4 章

質問 13-19

人間を知る知識

質問 13 私たちの最初の父母は 彼らが被造された状態のまま 続けていましたか。

答え I 私たちの最初の父母は 神に対して罪を犯し それは 彼ら自身の意志の自由から離れてしまい 彼らは 被造された状態から墮落しました。

1. 私たちの 初めの祖先であるアダムとエバは どのように墮落しましたか。

神に罪を犯したことで墮落しました（創 3:6-7）。アダムとエバは、知識と聖と義を持っていたので、神の御心に完全に従順することができました（伝道 7:29）。無罪状態での人は、神が喜ばれることを選び、行える意思がありました。しかし人は、意志の自由から離れ、罪を犯したのです。人は、墮落した以降、自由意志は、救いに関連する霊的なものを選びもせず、選ぶこともできなくなりました。自分自らは、取り返すこともできなくなりました（ヨハネ 6:44、65）。人間たちは腐敗された状態のまま、悪を行うのに偏ってしまったのです。

2. アダムとエバは 自由意志を どのように乱用しましたか。

アダムとエバは、自分たちの自由意思を神に捧げ、悪魔の誘惑に克服すべきでした。しかし、彼ら自ら悪魔の誘惑に喜んで屈服してしまったのです（ヤコブ 1:14）。悪魔は蛇を使ってエバを誘惑し、女は禁じられた実を食べました。そして女は、その実を男にも与え、男も食べました（創 3:5-6）。結局、アダムとエバは自由意志を持ちながら、神の戒めを破ることで罪を犯してしまったのです（Ⅱコリント 11:3）

3. 人が 罪を犯した効果は 何ですか。

自由意志を乱用して罪を犯した後の効果として、人は善なることと聖なることを選ばず、肉的なこと、世的なこと、情欲的なことを、最も選ぶしかありませんになりました。人は、罪と自犯罪によって死ぬしかない状態に至ってしまいました。（エペソ 2:1-2）。神が人に与えた、聖と知恵と義を失ってしまったのです。これから人は、死と苦しみとを味わい、悲惨な状態に至ってしまったのです。人は、一瞬も安全でない状態に置かれました（詩 49:12）。従って、人自らは、望みのない存在になりました。

質問 14 何が 罪ですか。

答え I 罪は 神の法を守らないこと あるいは 神の法を犯したことです。

1. 罪を知る前に 何を 先に知るべきですか。

罪に対する知識を持つためには、神の法を知らなければなりません(ロマ 7:7)。神の法がなければ、罪もないからです(ロマ 4:15)。神が人に戒めを与え、従順の規則を与えました。無罪状態のアダムとエバは、神の戒めがその心に刻まれていたので、神の御心を完全に知っていました。それにも関わらず、アダムとエバは戒めを破ったことで罪を犯したのです。神に対抗する罪を犯しました。

2. 神の律法を守らないのを 罪と呼ぶ理由は 何ですか。

人が積極的に神の律法を犯さなかったとしても、守らなかったなら罪になります。神の律法は、人々に積極的に律法と一致する生活を生きることを要求しているからです。聖書は、律法と一致する生活を生きないことを罪と教え、それに対しては神の呪いがあると語っています(ガラテヤ 3:10)。アダムが墮落した後の人は、神の戒めと一致する生活を生きることができなくなりました。従ってすべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができなくなりました(ロマ 3:23)。

3. 神の律法を犯すことを 罪と呼ぶ理由は 何ですか。

神の律法は、私たちのすべての行為の規範であり境界となります。私たちが罪を犯すことは、神の定めて置いた境界を超えることです。神の律法はその方が、聖と善であることを含めているので、その法を破るべきどんな理由もなかったのです(ロマ 7:12)。それにも関わらず、その境界を超えるのは、律法の制定者である神を無視して(ヤコブ 4:12; イザヤ 45:23)、神に対して敵対することです。神に敵対する者は、神の呪いの下に置かれることとなります(伝道 10:8)。

4. 罪を犯すことの 結果は 何ですか。

人が続けて罪を犯すのは、神に対して敵対することです。アダムが墮落した以降、人は原罪によって罪性(腐敗性)がその心に居座っているので、罪を続けて犯します。アダムが無罪状態の時、持っていた聖と義とを完全に失ってしまっ

いる状態です。人によって、すべての悪が増加しています（ロマ 7:13）。神の怒りが人たちの上にかかっている状態になりました（エゼキエル 24:13；レビ記 26:28）。それゆえ、神の御怒りを避ける道を探さなければなりません。その道が直ちに、キリストです（使徒 4:12）。

質問 15. 私たちの最初の父母を 被造された地位から墮落させた罪とは何ですか。

答え I 私たちの最初の父母を 被造された地位から墮落するようにさせた罪は 禁じられた実を 食べたことでした。

1. アダムとエバが 犯した罪を 何と呼びますか。

「原罪」と呼びます。アダムとエバは、神が食べてはならないと言われた善悪の実を食べました。神がアダムとエバに、善悪の知識の木の実を取って食べてはならないと命じられたのは、彼らの従順を試し、神がすべてを支配する主であることを現そうと、されてのことです。アダムとエバの罪は、悪魔の言葉を聞いて信じたところから始まり、実際に善悪の実を食べたことです。アダムとエバは神の戒めを破りました（創 3:11）。アダムとエバの罪が大きい理由は、彼らがエデンの園において、すべてを味わいながら豊かな生活の中にいたにも関わらず、罪を犯したことです。

2. 悪魔が エバを誘惑した 方法は 何ですか。

悪魔はエバを攻撃して、神の善について疑うようにさせ、神の戒めに含まれていた死の危機について、忘却するようにさせたことです。そして、善悪の実につ

いて感覚的に誘惑をし、神と同じようになれると言い、知識がさらに拡張されると言いながら、傲慢を煽り立てました。結局、エバは善悪の実を食べ、夫にも与え食べさせました。これは、神の契約を破ったことです（ホセア 6:7）。

3. アダムとエバは どのように戒めを 破ったのですか。

アダムとエバは、善悪の実を食べてはならないという命令を破りました。ところが、原罪は不信仰の罪です。彼らは神の真理より、悪魔の言葉を最も信じたからです（創 3:4）。アダムとエバの罪は、感謝しなかった罪です。神が彼らをエデンの園に置き、すべてを豊かに味合せたのにも関わらず、彼らは感謝もせず罪を犯しました。原罪が恐ろしく怖い罪である理由は、神と等しくなろうとする野望から始まったことだからです。アダムとエバの罪は、霊的に不注意したことから出た罪です（創 2:15）。彼らの犯した罪は、結局、死を引き起こしました。自分たちを殺させた罪です。

4. 罪の誘惑の性質は どのようなものですか。

悪魔が、エバの心を誘惑しました。そして心に、欲望が起こるように続けて誘惑しました。罪が心に身ごもるようになれば、必ず、罪を犯すようになるから、悪魔はそのように誘惑しました（詩 46:8）。従って、罪を克服する方法は、心に罪が身ごもらないようにすることです（ヤコブ 4:7）。ところが、このように罪を克服できることは、決して簡単ではないです。無罪状態であったアダムとエバさえ、この誘惑に負け罪を犯しました。一方、今日、私たちが新生していると言っても腐敗性が残っていて、世からの誘惑もあるので、人間の本来の力によってはできることはありません。従って神に、罪を克服できる恵みをくださいと求めるべきです（マタイ 6:13、26:41）。

質問 16. アダムの最初の犯罪によって すべての人類は 墮落しましたか。

答え I アダムと結ばれた契約は アダム自身だけのものではなく その子孫のためにも アダムから始まった全人類は 世代を重ねながら その中で 罪を犯し その最初の犯罪の中で 彼と共に墮落したのです。

1. 人類の頭としてアダムの罪は どのような効果を 与えましたか。

アダムは人類を代表する人物として (1 コリント 15:45) アダムからすべての人が出て来て、世代をつないで来ました (ロマ 5:12、14)。アダムは神と行為契約関係にいました (創 2:16 - 17)。アダムは、人類の自然的、根であり、行為契約の頭として、人類のすべての人と関係を持ちます。行為契約の頭というのは、アダム自身は勿論で、その子孫たちも行為契約の当事者となるのです。それで、アダムの罪が人類のすべての人に転嫁され (ロマ 5:12)、死の宣言もやはり人類に伝達されました (ロマ 5:17)。アダムの罪によってすべての人類が、神の罪の定めの下に置かれるようになりました。

2. アダムの罪が どのように人類の罪と なりますか。

アダムは自然にすべての人類の祖先となります。アダムからすべての人が出て来たからです。まだ、生まれてもいない人であっても、アダムの中にいることと数えられ、アダムの罪が彼らに転嫁されます (I コリント 15:22)。人々の自然的な根はアダムにあって、アダムは、行為契約の代表性を持っているからです。従って一人の人の罪が、すべての人の罪になりました (ロマ 5:19)。ですから、罪を贖うために来られたキリストとアダムとは、連結されてはならないから、通常の生育法によってお生まれになれず、聖霊によって受胎されたのです (マタイ 1:18)。

3. 墮落が人類を どのような状態にいるように させましたか。

アダムとエバは、戒めを破ったことによって墮落しました（ホセア 14:1）。アダムとエバが墮落したことで、人類を罪と悲惨な状態に置くようにさせました。人類を罪責の下にいるようにさせ（ロマ 3:19）罪の支配の元にいるようにさせました（ロマ 6:14）。悲惨というのは、罪によって呪いと審判の下にいるということです（ロマ 5:12）アダムの自由意志の乱用によって、人類は罪人となり、自らを破壊する者たちとなりました（ホセア 13:9）。

質問 17. 墮落が 人類を どのような状態に いるようにさせましたか。

答え I 墮落が人類を 罪と悲惨な状態に いるようにさせました。

1. 人類の悲惨な状態を どこで見ることができますか。

アダムの罪によって、人類が罪責と呪いと審判の下にいる状態とは、悲惨なものです。悲惨な状態とは、霊的に暗闇（エペソ 5:8）、神から遠ざけられている（エペソ 2:13）、罪の定めと、神の御怒りの下にいる（ヨハネ 3:18）、罪の奴隷となった状態（イザヤ 49:24-25）そして霊的にも法廷にも死の状態です（エペソ 2:1）。しかし、人類が最も悲惨な状態にいるとは、自分自らはこのような状態から抜け出られないことです（エゼキエル 16:4-5）。人類自ら、このような悲惨さから決して抜け出られない理由は、アダムの墮落によって、人の自然的本性が、神と敵となっている状態、福音を受け入れない（詩 81:11）、神の定められた救いの方法を拒絶しているところです（ヨハネ 5:40）。

2. 原罪が人類に どのような影響を 及ぼしましたか。

アダムが犯した原罪は、すべての人に転嫁されていて、すべての人は、内在的に原罪を持って生まれます。アダムの罪が、すべての人を罪人とさせました（ロマ 5:19）。アダムは法的にも、自然的にも、すべての人類の頭であり代表的です。神はアダムを通して、その子孫と契約を結ばれたのです（I コリント 15:22）。アダムが契約を犯した時、その子孫もアダムと同じく、契約を犯したことになります。アダムに下られた刑罰が、人類に同じように宣言されました。

3. 原罪によって 何が 欠如されたのでしょうか。

神が人を造られた時、神の形に造られ、それによって人は、本来の義を持っています。しかしアダムが罪を犯したことによって、義を喪失しました。それで人類は、義が欠如された状態になりました。しかし律法は、義を要求しています。従って、彼らが律法を守るとしても、完全に守ることができないから、義人はいないのです（ロマ 3:10-12）。結局人は、呪いと審判の下にいるようになりました（ロマ 6:23；ガラテヤ 3:10）。これから罪人が、義人となれる方法は、自分にはありません。ただ、神が用意してくださった方法、以外にはありません（エレミヤ 33:6）。

4. 原罪によって 人の心は どのようにになりましたか。

原罪は、人の本性全体を腐敗させました（テトス 1:15；ロマ 3:10-19）。普遍的な腐敗は、体と靈魂と靈魂のすべての機能において起こりました（イザヤ 1:5-6）。体と靈魂の全的腐敗によって、靈的なことについて敵となり、靈的なことには無能となりました（ロマ 8:7）。心の性向が、罪に完全に偏ってしまっています（創 6:5）。人の心が腐敗された証拠は、神の形に造られたアダムの犯罪の後、生まれて来る子供は、神の形ではなく、アダムの形を持つようになったことです（創 5:1, 3）。それからは、汚れた所から聖いものが出ることはなく、汚れ

たものが出ると聖書は語っています（ヨブ 14:4）。イエスさまも、肉から生まれた者は、肉であると仰せられました（ヨハネ 3:6）。使徒パウロは、御怒りの子たちだと言っています（エペソ 2:3）。

5. 人の心が 腐敗されたゆえに 出て来る証拠は 何ですか。

人の心が腐敗されているから、罪が洪水のようにこの世を蔓延するようにさせ、人々に悲惨さが一般になりました。人々は、真理より、過ちと偽りについて聞きたがって（箴 19:27）、自分の霊魂より、自分の体に最も関心を持ち世話をします（マタイ 16:26）。人々は、自分の持っているもので満足できないで、他の人のものまでも奪おうとします（Ⅱ列王 6:33）。人々は、自分の行為を根拠にして救われようと考え、自分自らの義に陥ります（ロマ 10:3）。このような腐敗性は世代を重ねながら、最も拡散されました。

質問 18. 墮落した状態での罪性は 何によって 構成されていますか。

答え I 墮落した状態での罪性は アダム最初の罪の中にあつて 義が欠如されたまま 人のすべての本性が腐敗されたまま これを一般的に原罪と呼びます。この原罪から すべての実際的な罪が出て来ます。

1. アダムの原罪と 人類が実際に犯している罪とは どのような関係がありますか。

神は、アダムが罪を犯した時、彼に付与した義を取り去ってしまわれました。

そして人は、全的に腐敗しました。そうしながら人々は、暗闇と結合するようになりました。人類は、最も、罪と慣れ親しんで鍛錬されました。頭から足の先まで罪に満ちるようになりました（イザヤ 1:5-6）。霊的理解力は暗くなり、神のものを受け入れなくなりました（I コリント 2:14）。意志までも腐敗されて、神に対して反逆を、神の律法と福音に反対しました。情緒もやはり腐敗されて、無駄な事と肉体の楽しみに陥るようになりました（詩 5:5-6）。良心も腐敗されて、悪を善と、善を悪だと言います（イザヤ 5:20）。記憶も腐敗され、くだらなく、無駄なことでいっぱいさせ、記憶すべき霊的なことは忘却しながら生きて（詩 106:13、21）。体も腐敗されて、罪の道具となりました（ロマ 6:13）。

2. 原罪と 自罪との関係は 何ですか。

原罪、それ自体でも罪の定め の性質を持っています。原罪は人を、罪の状態から生まれるようにさせ（詩 51:5）、霊的に汚れの中にいるようにさせます。人々は、アダム の犯した罪をそっくり従って反復しています（ロマ 5:14）。これを「自罪」（actual sin）と呼びます。私たちのすべての行為（内的や外的な行為）の中で、神の律法を破っているのが罪です。自罪は、すでに習慣となって形成されています。それゆえ、意志が罪に対して同意させ、罪を犯させます。結局、腐敗性は、霊的習慣となって場所を据え、続けて罪を生産し出します（マタイ 7:17-18）。従って、人は聖霊によって新生しない限り、神の国に入ることはできません（ヨハネ 3:3）。

質問 19. 人間の 墮落した状態での 悲惨さは 何ですか。

答え I アダムとエバの墮落によって すべての人類は 神との交際を失ってしまい 神の御怒りと呪いの下に置かれるようになり この世において すべての悲惨さ 死と永遠の地獄の苦しみに置かれるようになりました。

1. アダムとエバの墮落によって 人類に訪れた

第一の悲惨さは 何ですか。

アダムとエバは、墮落によって幸せを失いました。アダムとエバが、墮落以前の時に味わっていた素晴らしい幸せは、神によって喜び、楽しむ交際でした。彼らは、神の恵みの臨在の中で喜びながら幸せでした。しかし、アダムとエバが墮落した途端、神の臨在を恐れるようになり、神を避け、隠れました（創 3:8）。神はアダムとエバをエデンの園から追放しました。それは、神の恵みから追放されたことを意味します。墮落以降、神との交際は閉ざされ、すべての人は、神からの栄誉を受けることができなくなりました（ロマ 3:23）。罪が、神との交際を断ち切ってしまったのです。

2. アダムとエバの墮落によって 人類に訪れた

第二の悲惨さは 何ですか。

アダムとエバの墮落以降、人類は神の御怒りと呪いの下に置かれるようになりました。神の御怒りの下にいるとは、神は、罪人である人間を嫌うということです。神の怒りは、時には目で見えるように、時には密かに施行されます（詩 11:6、50:21）。神の呪いの下に置かれているというのは、律法が、罪に対して宣告するのです。神は、罪人と悪人について、日々憤慨しています（詩 7:11）。神の御怒りは天から、悪人とすべての不敬虔な者たちに現れます（ロマ 1:18）。従って、信じない者は、すでに、罪に定められた者であり、神の御怒りがその上に留まっています（ヨハネ 3:18、36）

3. 神の御怒りを 人々は避けることができるでしょうか。

神の御怒りを避けられる被造物も、人間もいません。神の御怒りは、焼き尽くす火で、すべてを消滅させます（イザヤ 33:14）。神の怒りは、この地において、苦い苦痛を経験させます。病の状態で、神の怒りを感じられ、その時の良心は、

相当な苦しみと恐れの中にあるようになります。神は、人々の不義を赤裸々に現わし、怒りが彼らに臨まれることをお見せします。この時、人々の霊魂は、溶け散るようになります（詩 22:14-15）。神の怒りの臨在を経験する時、人々は自分を隠せる所が到底ないことを知るようになります、最も恐れるようになります（詩 139:7 - 13）。

4. アダムとエバが 墮落した後に 人類に訪れた

第三の悲惨さは 何ですか。

アダムとエバが墮落した後、人類はこの世において、その悲惨と死と永遠の地獄の苦しみに置かれるようになりました。先ず、霊魂と体に悲惨さが臨まれました。霊魂は本来の美しさと卓越さを全部失ってしまい、曲げられた形を持つようになりました。心は暗くなり（エペソ 4:18）、頑なになり（ロマ 2:5）、混沌に陥りました（Ⅱテサロニケ 2:11）。人々はサタンの奴隷となりました（エペソ 2:2）。霊魂の病に対する治療策が人にはありません。

5. 人類に訪れた 外的な悲惨さは どのようなものがありますか。

剣の危険と、飢饉と、迫害と、捕虜に引きずられて行くことです（エゼキエル 5:17）。あらゆる種類の病気と災い、労苦と貧しさ、数知れない種類の十字架などです（申 28:16-17）。このような外的な災いなどは、敬虔な者にも悪人にも臨まれるのですが、敬虔な者たちには神の懲らしめとして、彼らの霊的有益のためにです（ヘブル 12:6）。これは、神の善による、彼らを悔い改めさせるためです。しかし、悔い改めを断る悪人には、神の懲罰として現れます（ロマ 2:5）

6. 死の悲惨さとは 何ですか。

体の死によって、人の霊魂と体は分離されます。死は、確かに罪が原因です（ロ

マ 5:12)。罪と死とは、不可分の関係です。神の義によって定められました（エゼキエル 18:4；ヘブル 9:27）。勿論、信者の死と未信者の死とは、差があります。信者は、恵み契約の下にいるから、キリストの御手の中で栄華が始まるのですが、未信者は、行為契約の下にいるから、サタンの手の中にいるゆえ地獄に引きずられて行きます。

7. 死の以降に どのような者たちが 地獄に落ちるのですか。

死の以降に、未信者の霊魂は、地獄の永遠の苦しみを受けます。地獄は、悪魔と悪霊たちのために用意された苦痛の状態と場所です（マタイ 25:41）。ところが、この世において悪人たちもここに落ちます（詩 9:17）。不敬虔な者たちもここに落ちるのですが、彼らは、悪魔と結託して、生きておられる神に敵対した者たちです（イザヤ 28:15；エペソ 2:2）。キリストを無視し、福音を拒否し、不信仰によって一貫した者たちが地獄に落ちて、ソドムが受けた審判より、最も激しい審判を受けるようになります（マタイ 11:21-25）。

8. 地獄の苦しみは どのようなものがありますか。

聖書が語る地獄の苦しみは、完全な暗闇に霊魂たちが閉じ込められていて（マタイ 8:12）、火の池の中にいて（黙 20:10）。苦しみは終わりがなく続けられ（黙 14:11）、うじも決して死ぬことがなく、火が消されず継続される（マルコ 9:44、48）「第二の死」と呼ばれます（黙 21:8）。また、悪者たちは永遠の火に投げ込まれるでしょう（マタイ 18:8）。永遠の滅びの審判を受け（Ⅱテサロニケ 1:9）、苦しみが昼も夜も永遠に持続されると語っています（Ⅱペテロ 2:17）。地獄の永遠の苦しみなどは、神が、義であること、聖であることを現わしています（Ⅰペテロ 1:18-19）。